

# ■ ■ 地域包括支援センターからのお知らせ ■ ■

定期的に広報誌でお知らせしている「認知症」についてですが、今月号は「早めの相談・受診」についてお知らせします。

## ●「今までと違う？」と思ったら、早めの相談や受診が大切です

認知症は、記憶障害やさまざまな状況を適切に判断することが難しくなり、生活する上での支障が少しずつ増えてくる脳の病気です。

認知症は早期発見と対応が大切です。高齢者本人だけでなく、家族などの周囲の人も「今までとは違う」と感じるものがあつたら、その変化を見逃さないようにしましょう。

### 「加齢」による物忘れ

体験の「一部」を忘れる  
「何を食べたか」思い出せない  
「約束をすっかり」忘れてしまった  
目の前の「人の名前」が思い出せない  
物を置いた場所を「しばしば」思い出せない  
「ヒントがある」と思い出せる

### 「認知症」による物忘れ

体験の「全部」を忘れる  
「食べたこと自体」を忘れる  
「約束したこと自体」を忘れる  
目の前の人「誰なのか」分からない  
置き忘れ、紛失が「頻繁」になる  
「ヒントがあつても」思い出せない



- \* 上記はあくまでも目安です。当てはまらない人もいます。
- \* 最初は区別がつきにくいですが、次第に症状の違いがはっきりしてきます。
- \* 症状が以前に比べ頻度が増えているか、程度が重くなっているかなどの変化がポイントです。



切ったばかりの電話の相手を忘れる

テレビのリモコンの簡単な操作に戸惑う

慣れた道で迷う

### 他にもこんな症状が 気付きのポイント

- 料理や片付けができなくなってきた
- 運転などのミスが多くなり車に傷が増えてきた
- 身だしなみを構わなくなった
- 外出をおっくうがる
- 怒りっぽくなった

## まずは「かかりつけ医」に相談

「もしかしたら？」と思っても、どの病院に行けばよいか分からない場合は、まず普段から受診している「かかりつけ医」に相談しましょう。かかりつけ医は本人や家族のことを日頃から知っている強みがあります。相談や必要に応じて専門医療機関を紹介してくれます。

また診断に欠かせないのが、本人や家族からの情報です。本人の話はもちろん、家族からの視点、それぞれの話の食い違いなども大切な手がかりになります。医師に伝えたい内容（例：いつ頃から性格や習慣に変化が出てきたか・具体的に困っている症状は何か・日や時間帯によって変化があるか・今まで治療している病気・飲んでいる薬とその服用期間など）をメモする等、まとめておくと診断がスムーズです。

町立診療所の心療内科（月2回・要予約。電話：5 - 1221）で認知症の相談ができます。

## 認知症初期集中支援チームがお手伝いします

「認知症かもしれないけど、本人が受診を拒否するので困っている」等、家族としても対応に悩むことは多いと思います。そこで、このような場合に早期診断・早期治療・早期療養ができるように、4月から医療・介護の専門職「認知症初期集中支援チーム」を立ち上げ、皆さんのお手伝いを始めました。

認知症等でどうしたらよいか困ったときは、まずは地域包括支援センター（電話：5 - 1790）までご相談ください。